

日本労働弁護団主催

残業代ゼロ法に強く反対する集会

～過労死促進法・ブラック企業合法化法は断固阻止～

産業競争力会議雇用・人材分科会は、本年４月２２日と５月２８日に、それぞれ「個人と企業の成長のための新たな働き方」と「個人と企業の持続的成長のための働き方改革」を発表し、「新しい労働時間制度」の導入を提案しています。この制度が導入されれば、いくら長時間労働をしようと、もはや時間外労働（残業）という概念自体が無くなり、割増賃金が支払われず、成果を出すための長時間労働により過労死が促進されるのは明らかです。また、残業代を支払わず若者を長時間労働により使い潰す、いわゆる「ブラック企業」も、合法的に残業代を免れることができ、いわば「ブラック企業」を合法化することになります。

さらに、この残業代ゼロ法以外にも、既に法案が出された派遣の実質自由化となる派遣法改正法案、有期労働契約の無期転換ルールの抜け道を認める改正法案、解雇の金銭解決制度、解雇しやすくするためのジョブ型正社員制度など、労働法改悪が進められています。

このような状況において、かつて第１次安倍内閣のホワイトカラーエグゼンプションを跳ね返したように、大きな運動で対抗することが求められています。

そこで、日本労働弁護団が呼びかけ人となり、政府の残業代ゼロ法案の動ききに強く反対するために、表記の集会を企画しました。

当日は、当弁護団からの報告や、労働組合などからの発言などを予定しております。多数の皆様にご参加をいただきたく、御案内申し上げます。

～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・～

日 時 2014年7月17日（木）
18時30分（＊18時00分開場）～20時00分【予定】
場 所 連合会館2階大会議室
参加費 無 料【事前申込不要】
内 容 （予定）1 労働弁護団からの報告
2 労組などからの発言など

【お問い合わせ先】日本労働弁護団（<http://roudou-bengodan.org>）

〒101-0062 千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館4階

TEL : 03-3251-5363 FAX : 03-3258-6790